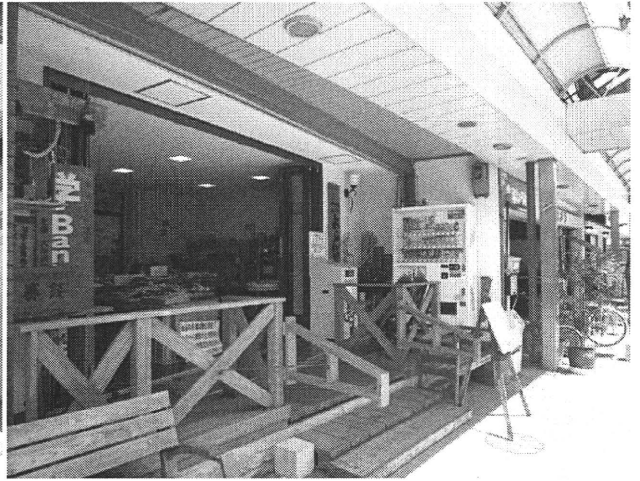
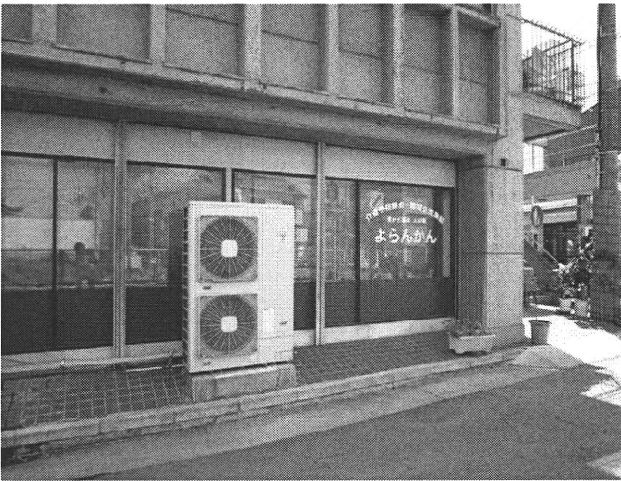




①交流拠点外観



②交流拠点外観



③交流拠点外観



④交流拠点外観



⑤周辺写真



⑥周辺写真

校区	大牟田校区	交流拠点名	地域交流センター 医師会
		法人名	(社)大牟田医師会

【施設概要】

1.	開設年月	平成18年6月 開設		
2.	整備手法	既存建物を転用して整備		
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額:1223万円(うち補助金額750万円)		
	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	有		
	有の場合:交流拠点と同一敷地内にあるもの	訪問看護、訪問介護、居宅介護支援事業所		
	地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか	どちらとも言えない		
	その理由:			
3.	運営に関わる主なスタッフ数	2名		
4.	主なスタッフの勤務状況	保有資格		兼務先
	1人目	兼任	なし	総務部との兼務
	2人目	兼任	介護福祉士・ケアマネ等	居宅介護支援事業所との兼務
5.	平成21年度の運営費	収入:0万円	支出:0万円	
	交流拠点の家賃	未回答		

【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合	
	0	0	0		
	事前登録の必要性(必要:不必要)	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合		参加者の流動性 固定, ほぼ固定, 流動	
	活動実績なし				
7.	開館方法	事業や活動の有無にかかわらず一定時間、オープンしている。			
	開館曜日	月～土		開館時間	9:00～17:00
	開館時の職員の常駐場所	同一建物内			
8.	毎月の延利用者数	約8名	利用者数の増減	利用者数は増加傾向 メンバーは広がり、利用者数も増加している	
	大牟田市委託事業(よかば～い体操、歯にかみ教室)の実施状況			実施していない	
	大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無			無	
	名称)	独自の交流拠点事業			実施していない
	対象者)			参加形式)	
	住民による校区活動やサークル活動時の利用形態			事前予約が必要・空いていれば利用可	
	不定期の利用回数			1回/月	
	常時運営している有料のレストランや食事処			無	
	提供内容			利用者数	
	お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄る場			無	
	提供内容			利用者数	
	ボランティアの参加の有無		無	延ボランティア数	
送迎の有無			無		
地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)			有		

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度			
	37の地域交流施設のなかでは、校区住民に全く知られていない交流拠点だと思う			
10.	広報誌(A4 1枚程度のものも含む)の作成の有無		作成していない	
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー		無(該当者はあり)	
	人数		校区活動の経験	
	校区での立場			
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人		民生児童委員、公民館館長 等	
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況			
	37の地域交流施設のなかでは、連携が全くできていない交流拠点だと思う			
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること			
	未回答			
14.	校区の資源マップ作成の有無		作成していない	
15.	校区住民に運営にかかわってもらうためにしていること			
	未回答			
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について			
	設置の有無	検討に至っていない		
	小サロンの数		場所	
	開催数			運営主体

【地区住民のポテンシャル】

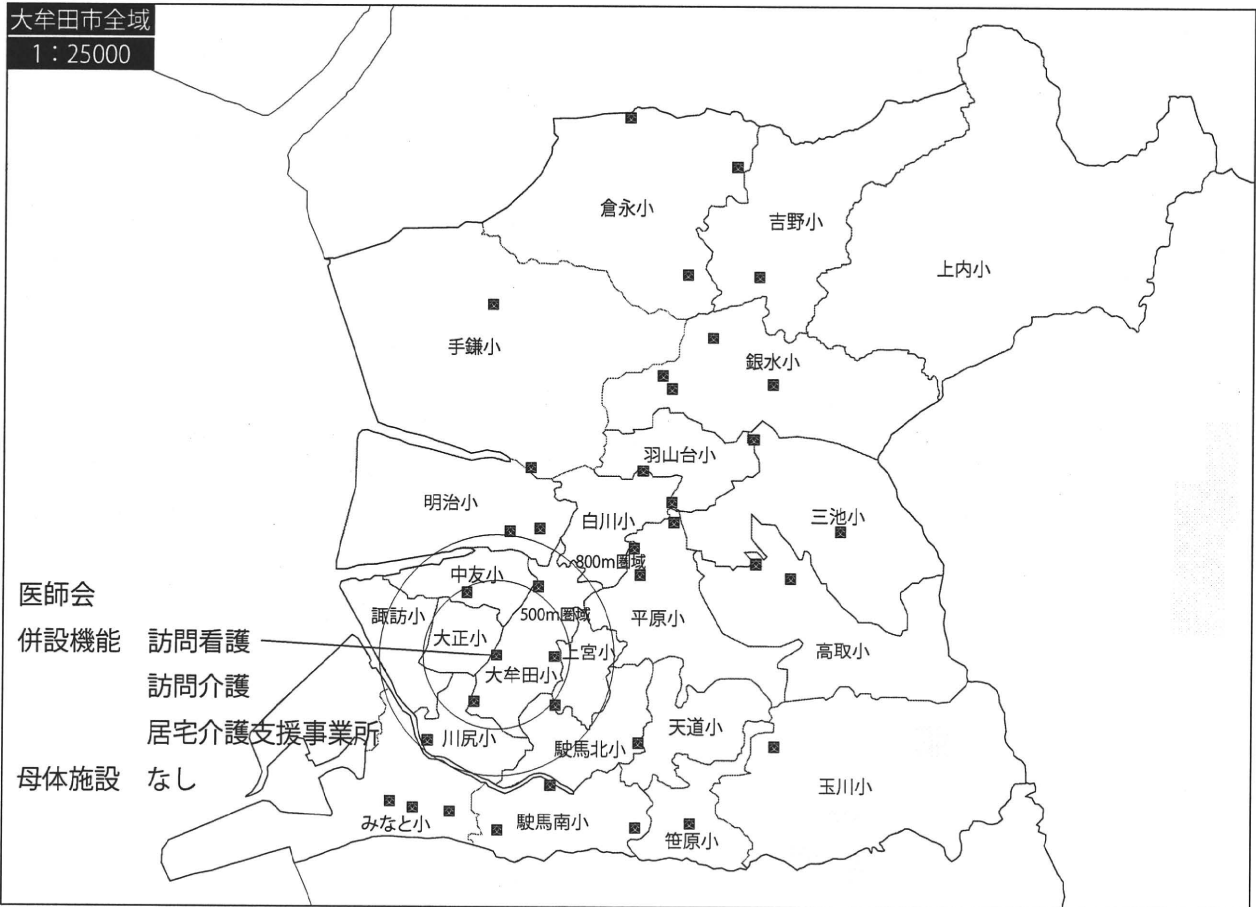
17.	地区校区の住民活動について			
	未回答			
18.	校区の住民活動について			
	未回答			
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか		無	

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか			
	無	有の場合		
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか どちらにもあまり寄与しないと思う			
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について 必要性は認識しているが積極的に取り組んでいるとは言い難いと思う。			
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望			
	未回答			
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望			
	未回答			

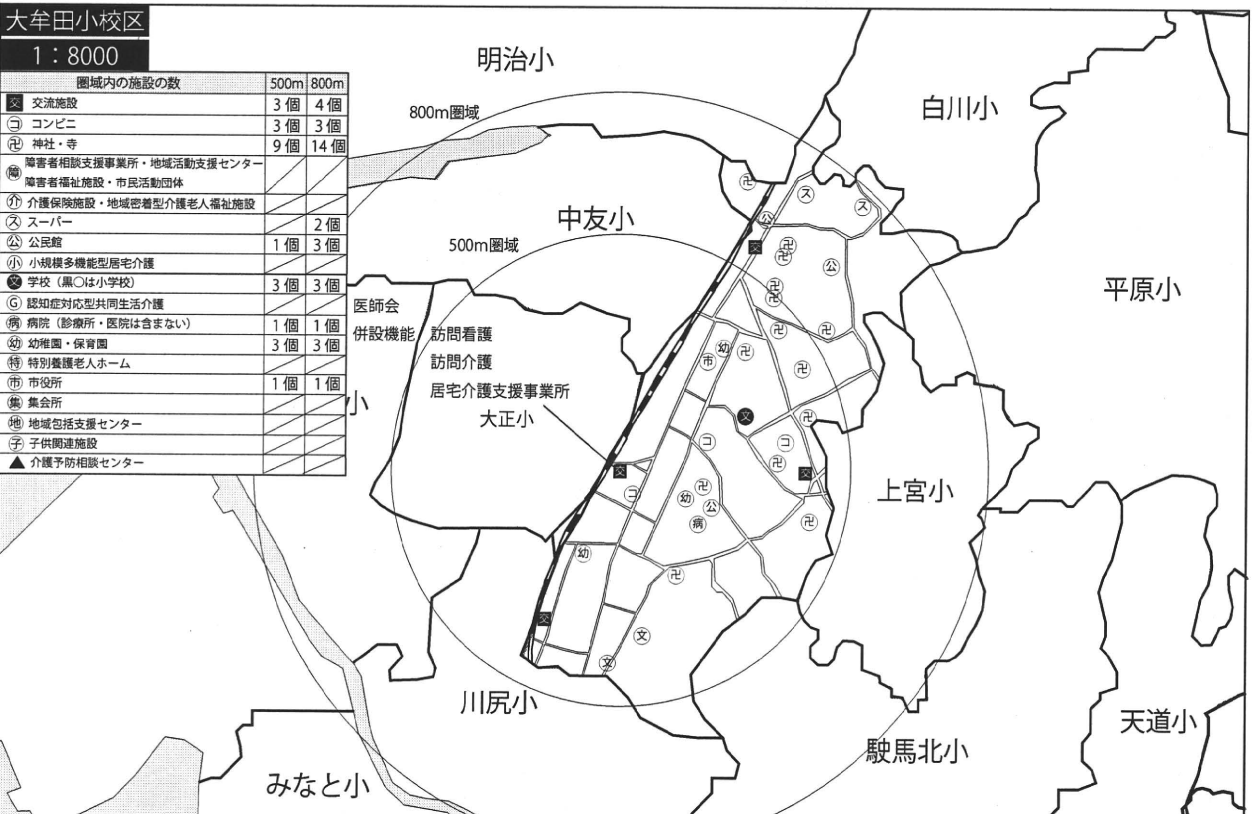
大牟田市全域

1 : 25000

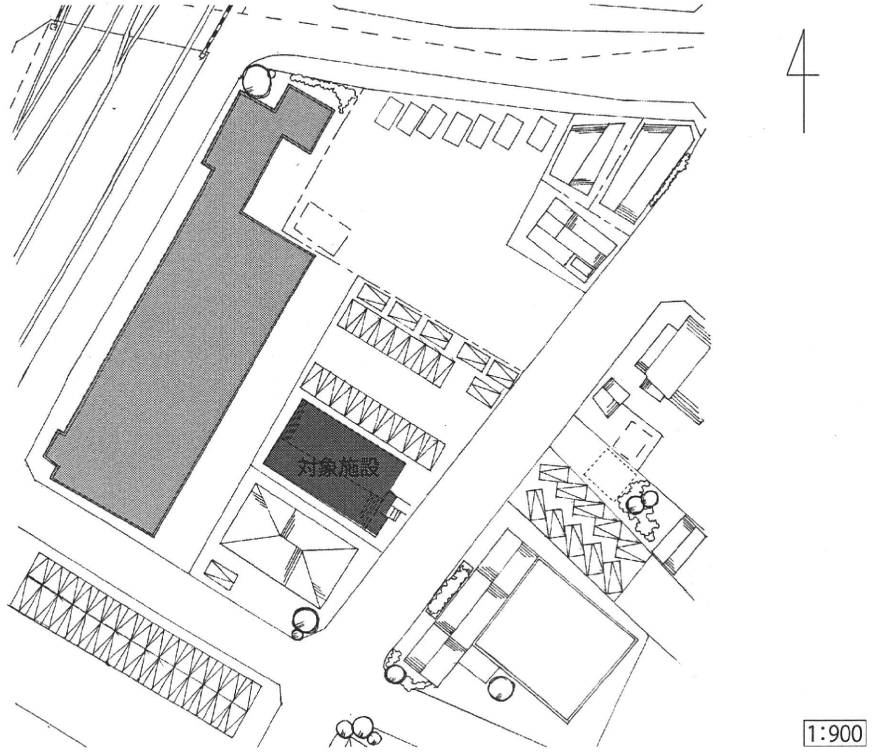


大牟田小学校区

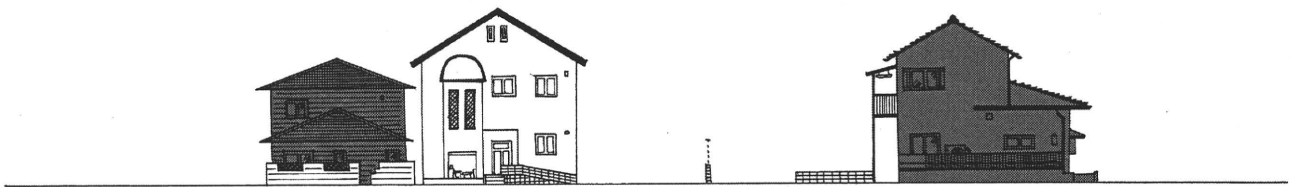
1 : 8000



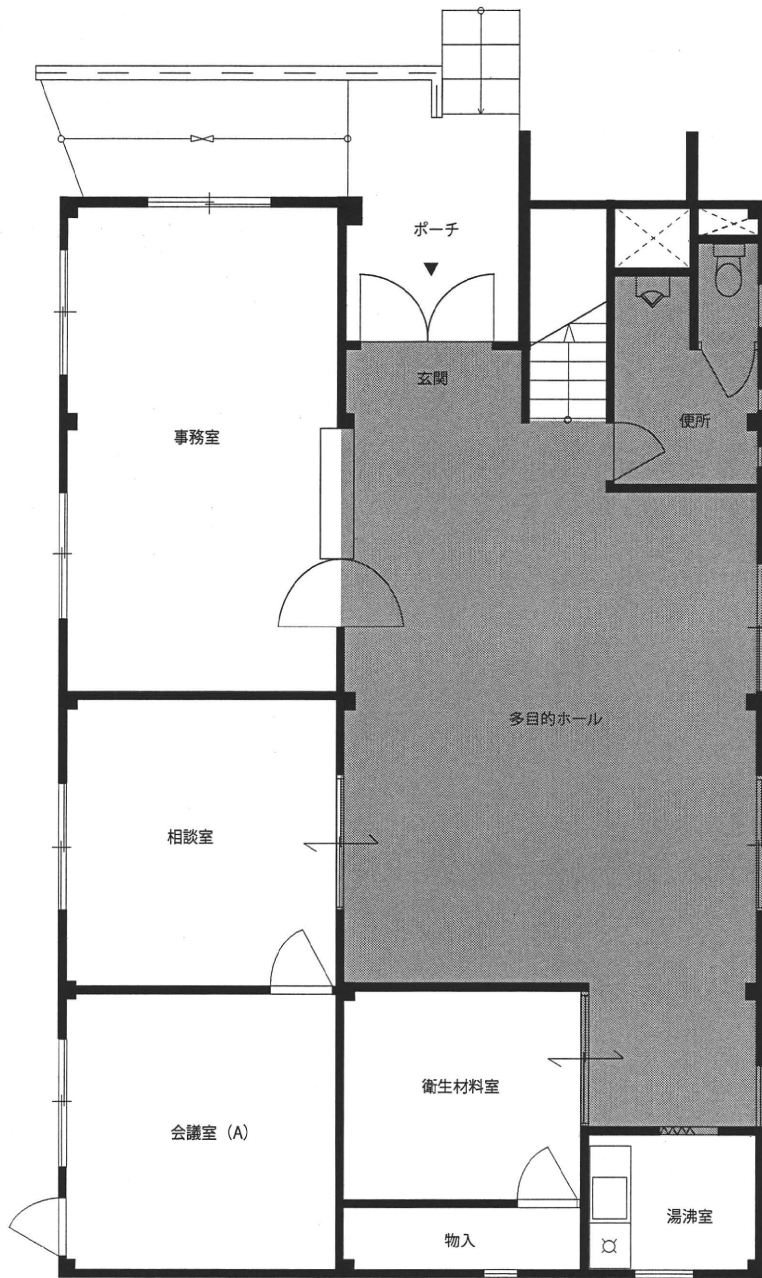
人口	6736人	老人クラブ加入率	5.39%
65歳以上の高齢者数	1688人	公民館加入率	49%
単身高齢者世帯数	580人	投票率	58.3%



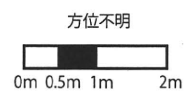
医師会 配置図



医師会 南東側立面図 1/400



訪問介護 ← ————— → 地域交流拠点



医師会平面図 1/100 地域交流スペース面積：78.23㎡



①交流拠点外観



②交流拠点外観



③交流拠点外観 左側が交流拠点



④交流拠点入口



⑤周辺写真



⑥周辺写真

校区	大牟田校区	交流拠点名	地域交流施設 春日
		法人名	(医)春日医院

【施設概要】

1.	開設年月	平成20年6月開設	
2.	整備手法	法人・事業所の既存部分を活用	
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額:155.4万円(うち補助金額116.5万円)	
	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	無	
	有の場合:交流拠点と同一敷地内にあるもの 地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか その理由:	どちらも言えない	
3.	運営に関わる主なスタッフ数	6名	
4.	主なスタッフの勤務状況	保有資格	兼務先
	1人目	兼任	医師 法人内医療機関との兼務
	2人目	兼任	准看護師 法人内医療機関との兼務
	3人目	兼任	社会福祉主事 法人内医療機関との兼務
4人目	兼任	無 法人内医療機関との兼務	
5.	平成21年度の運営費	収入:0万円	支出:2万円
	交流拠点の家賃	家賃なし	

【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合
	2	17	260	0:2:0:0
	事前登録の必要性(必要:不必要)	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合	参加者の流動性	固定, ほぼ固定, 流動
	0:2	2:0:0	0:0:2	
定期的な活動は月に1回開催される高齢者を対象とした健康講座のみである。不定期な活動としては、音楽観賞会などが実施されている。				
7.	開館方法	事業や活動の有無にかかわらず一定時間、オープンしている。		
	開館曜日	月～土	開館時間	9:00～16:00
	開館時の職員の常駐場所	併設医療機関		
8.	毎月の延利用者数	約10名	利用者数の増減	利用者数は横ばい
	大牟田市委託事業(よかば～体操、歯にかみ教室)の実施状況			実施している
	大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無			無
	名称)			
	独自の交流拠点事業			実施している
	対象者)高齢者向け		参加形式)事前登録制・事前登録不要双方ともあり	
	住民による校区活動やサークル活動時の利用形態			事前予約が必要・空いていれば利用可
	不定期の利用回数			未回答
	常時運営している有料のレストランや食事処			無
	提供内容			利用者数
	お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄る場			無
	提供内容			利用者数
ボランティアの参加の有無		無	延ボランティア数	
送迎の有無			無	
地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)			有	

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度			
	37の地域交流施設のなかでは、校区住民に知られている交流拠点だと思う			
10.	広報誌(A4 1枚程度のものも含む)の作成の有無		作成していない	
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー			無(該当者はあり)
	人数		校区活動の経験	
	校区での立場			
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人			民生委員
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況			
	37の地域交流施設のなかでは、連携があまりできていない交流拠点だと思う			
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること			
	校区の活動に施設を提供している。			
14.	校区の資源マップ作成の有無		作成していない	
15.	校区住民に運営にかかわってもらうためにしていること 未回答			
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について			
	設置の有無	検討に至っていない		
	小サロンの数		場所	
	開催数		運営主体	

【地区住民のポテンシャル】

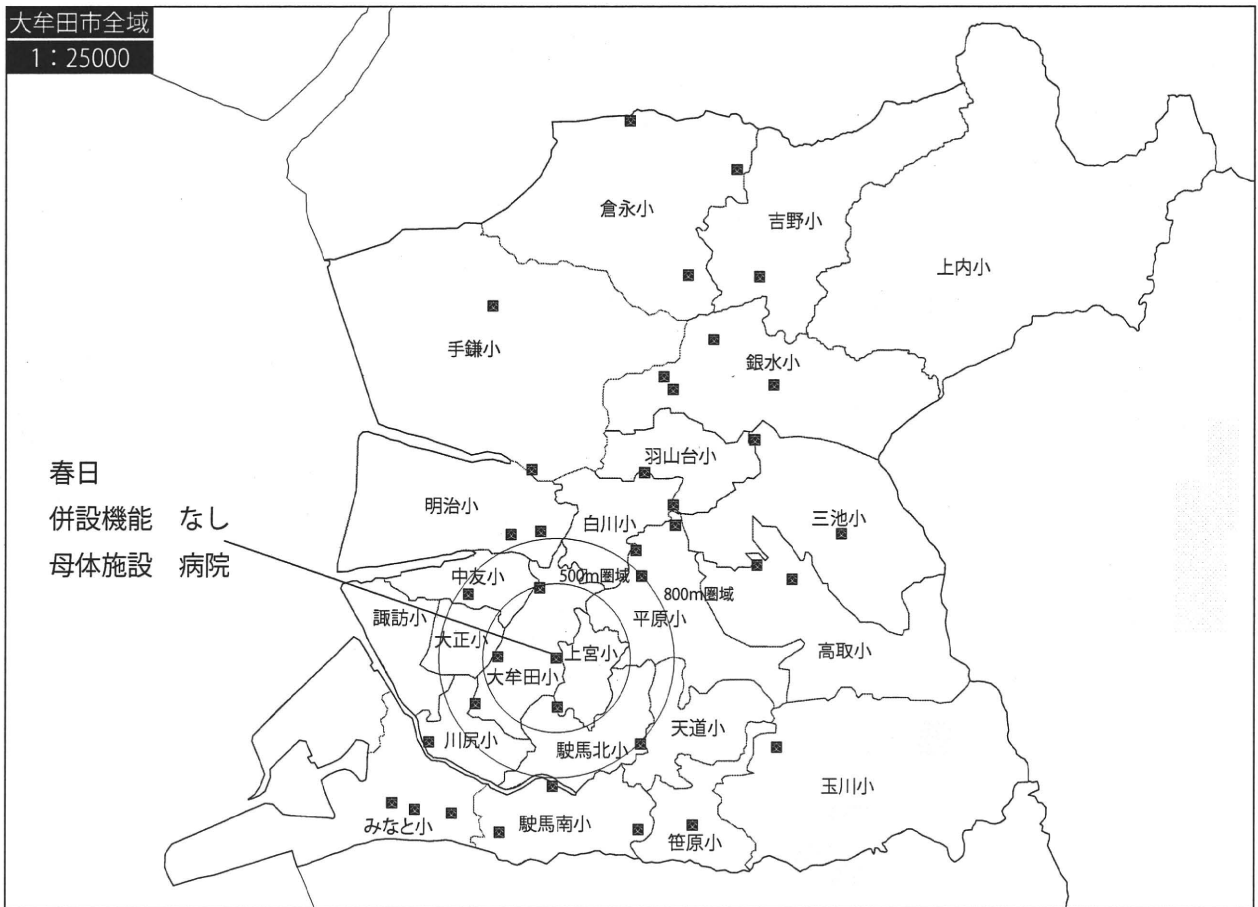
17.	地区校区の住民活動について			
	22校区のなかでは公民館、民生児童委員、校区社協などの活動が特に活発である			
18.	校区の住民活動について			
	22校区のなかで公民館、民生・児童委員、校区社協の横の連携がある			
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか		無	

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか			
	無	有の場合)		
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか サービス向上、長期的な経営改善の双方に寄与すると思う。			
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について 交流拠点の各種事業への積極的な取り組みを行っていると思う。			
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望			
	未回答			
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望			
	未回答			

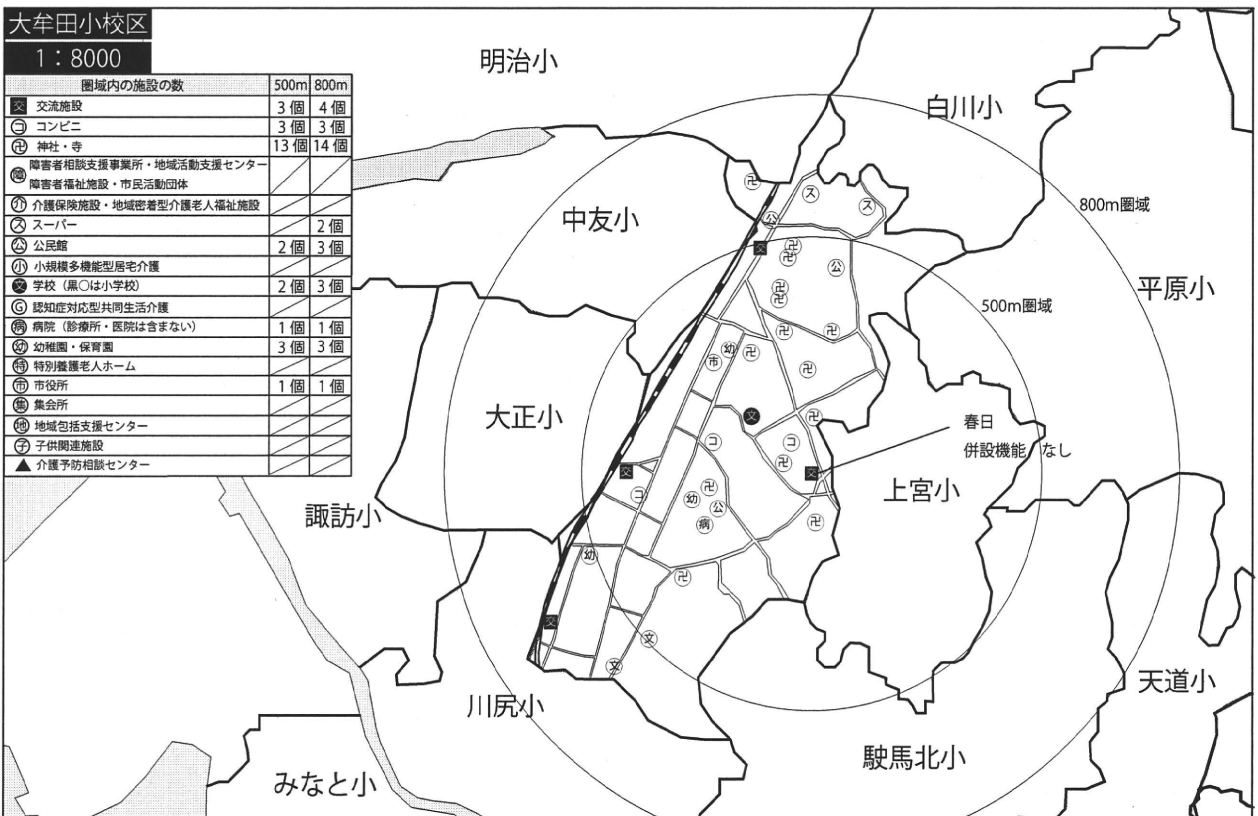
大牟田市全域

1 : 25000



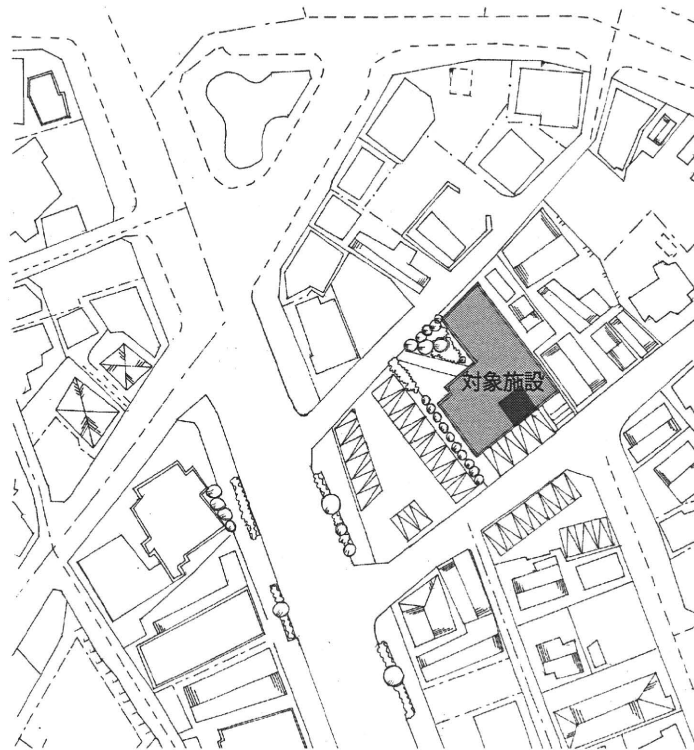
大牟田小校区

1 : 8000



圏域内の施設の数	500m	800m
交流施設	3個	4個
コンビニ	3個	3個
神社・寺	13個	14個
障害者相談支援事業所・地域活動支援センター		
障害者福祉施設・市民活動団体		
介護保険施設・地域密着型介護老人福祉施設		
スーパー		2個
公民館	2個	3個
小規模多機能型居宅介護		
学校 (黒○は小学校)	2個	3個
認知症対応型共同生活介護		
病院 (診療所・医院は含まない)	1個	1個
幼稚園・保育園	3個	3個
特別養護老人ホーム		
市役所	1個	1個
集会所		
地域包括支援センター		
子供関連施設		
介護予防相談センター		

人口	6736人	老人クラブ加入率	5.39%
65歳以上の高齢者数	1688人	公民館加入率	49%
単身高齢者世帯数	580人	投票率	58.3%

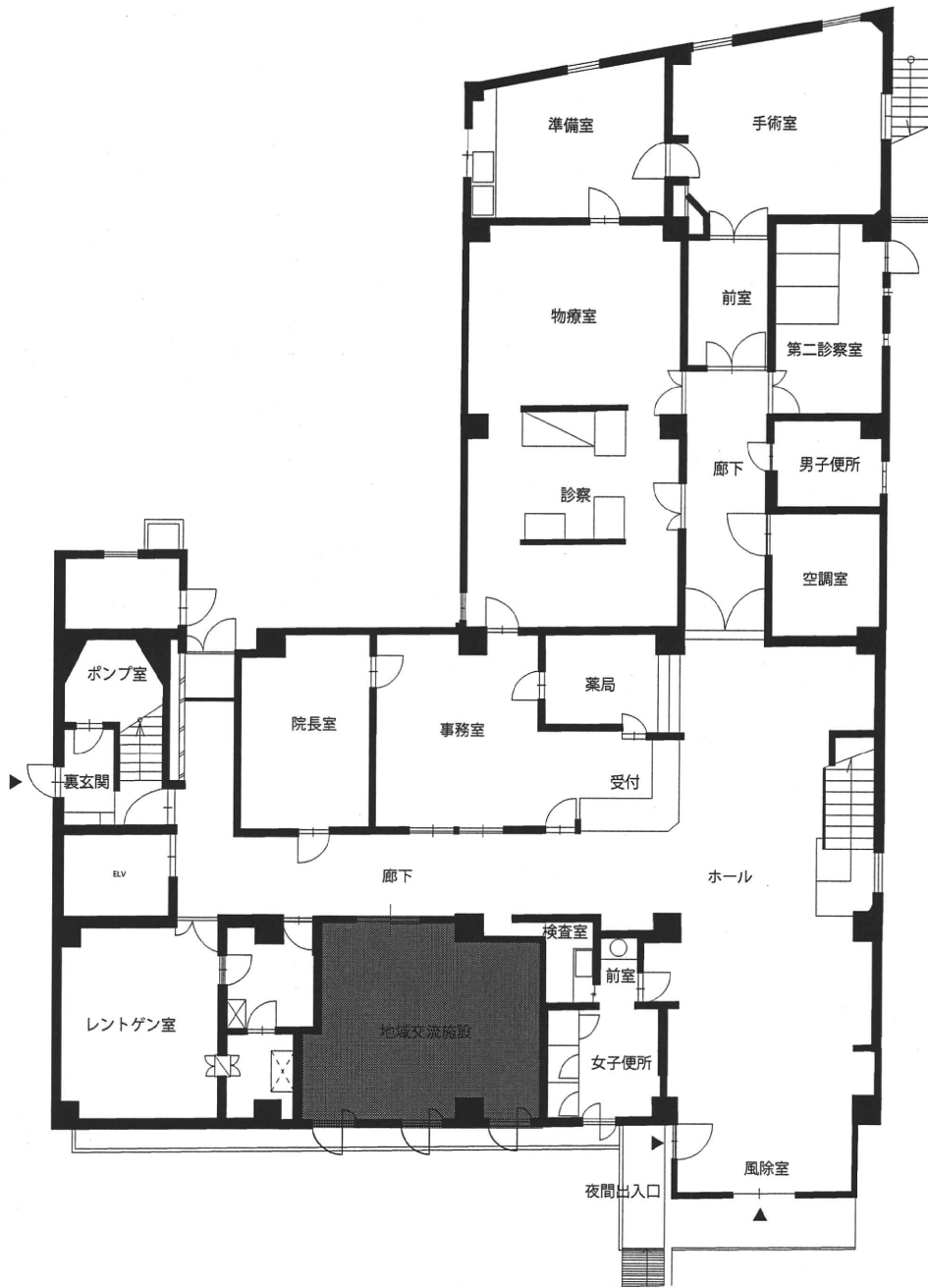


1:900

春日 配置図

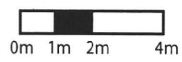


春日 南東側立面図 1/400



地域交流拠点 ← → 病院

方位不明



地域交流スペース面積：38.13㎡

春日平面図 1/200



①交流拠点外観



②交流拠点外観



③交流拠点入口（裏回り）



④交流拠点外観



⑤周辺写真



⑥周辺写真

校区	大牟田校区	交流拠点名	リビングアエル
		法人名	やまなみ快適生活(株)

【施設概要】

1.	開設年月	平成19年8月開設		
2.	整備手法	新規建設		
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額:1200万円(うち補助金額 未回答 円)		
	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	有		
	有の場合:交流拠点と同一建物内にあるもの 地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか その理由:道路に向いてガラス面を多用した建物。	小規模多機能型居宅介護 訪れやすいと思う		
3.	運営に関わる主なスタッフ数	3名		
4.	主なスタッフの勤務状況	保有資格	兼務先	
	1人目	兼任	ケアマネ	小規模多機能との兼務
	2人目	兼任	介護福祉士	小規模多機能との兼務
	3人目	兼任	ヘルパー	小規模多機能との兼務
5.	平成21年度の運営費	収入:5万円	支出:18万円	
	交流拠点の家賃	未回答		

【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合
	4	217	1300	0:0:4:0
	事前登録の必要性(必要:不必要)	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合		参加者の流動性 固定, ほぼ固定, 流動
	3:0:1(未回答)	1:1:2		0:4:0
定期的な活動は、全て住民主体の活動となる。活動内容としては、いきいきくらぶ、太極拳、三味線、英会話などのサークル活動が実施されている。毎週1回の割合で実施されており、1回あたりの参加者数は10名以下である。				
7.	開館方法	事業や活動の有無にかかわらず一定時間、オープンしている。		
	開館曜日	日～土	開館時間	9:00～21:00
	開館時の職員の常駐場所	小規模多機能施設		
8.	毎月の延利用者数	約80名	利用者数の増減	利用者数は横ばい
	大牟田市委託事業(よかば～い体操、歯にかみ教室)の実施状況			実施している
	大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無			無
	名称)	独自の交流拠点事業		
	対象者)			参加形式)
	住民による校区活動やサークル活動時の利用形態			事前予約が必要・空いていれば利用可
	不定期の利用回数			2回/月
	常時運営している有料のレストランや食事処			無
	提供内容			利用者数
	お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄る場			無
	提供内容			利用者数
ボランティアの参加の有無		無	延ボランティア数	無
送迎の有無			未回答	
地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)			有	

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度			
	37の地域交流施設のなかでは、校区住民に知られている交流拠点だと思う			
10.	広報誌(A4 1枚程度のものも含む)の作成の有無		作成していない	
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー			無(該当者はあり)
	人数	約2名	校区活動経験	
	校区での立場			
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人		民生児童委員	
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況			
	37の地域交流施設のなかでは、連携があまりできていない交流拠点だと思う			
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること			
	地域交流施設や法人で必要なものを校区内の商店で購入している			
14.	校区の資源マップ作成の有無		作成していない	
15.	校区住民に運営にかかわってもらうためにしていること			
	併設の小規模多機能等の運営推進会議に住民側が入り交流施設について話しあう。			
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について			
	設置の有無	検討に至っていない		
	小サロンの数		場所	場所
	開催数			運営主体

【地区住民のポテンシャル】

17.	地区校区の住民活動について			
	22校区のなかでは公民館、民生児童委員、校区社協などの活動があまり活発ではない			
18.	校区の住民活動について			
	22校区のなかで公民館、民生・児童委員、校区社協の横の連携があまりない			
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか		有	
	有の場合:どのような手順を踏んで支援に結びつけましたか)			
	利用している地域に住んでいる独居高齢者の利用者から相談がある。自立された高齢者だったため民生児童委員に訪問を依頼した。			

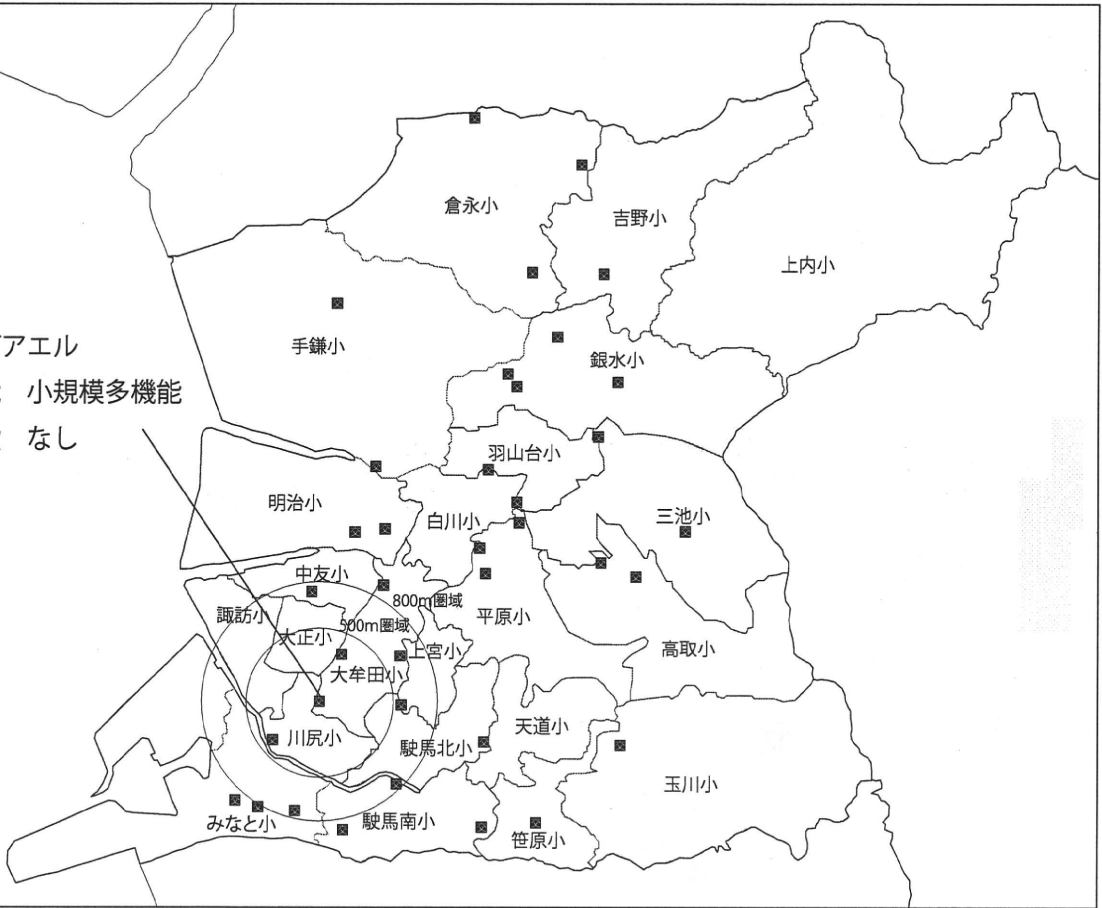
【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか			
	無	有の場合		
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか サービス向上、長期的な経営改善、双方に寄与すると思う。			
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について 必要性は認識しているが積極的に取り組んでいるとは言い難いと思う。			
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望			
	市民への広報活動の充実 地域のキーマンへの働きかけ			
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望			
	活動の拠点として活用していただきたい。ボランティアについての情報提供			

大牟田市全域

1 : 25000

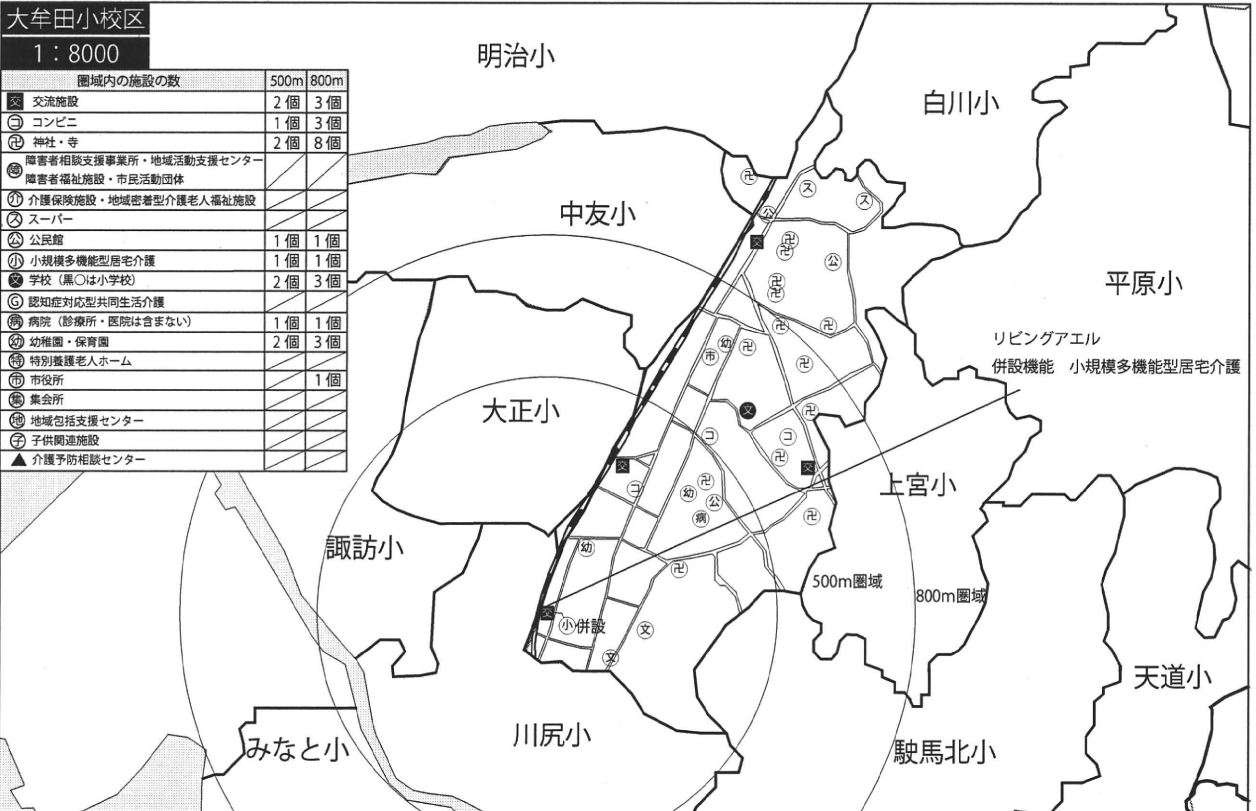
リビングアエル
併設機能 小規模多機能
母体施設 なし



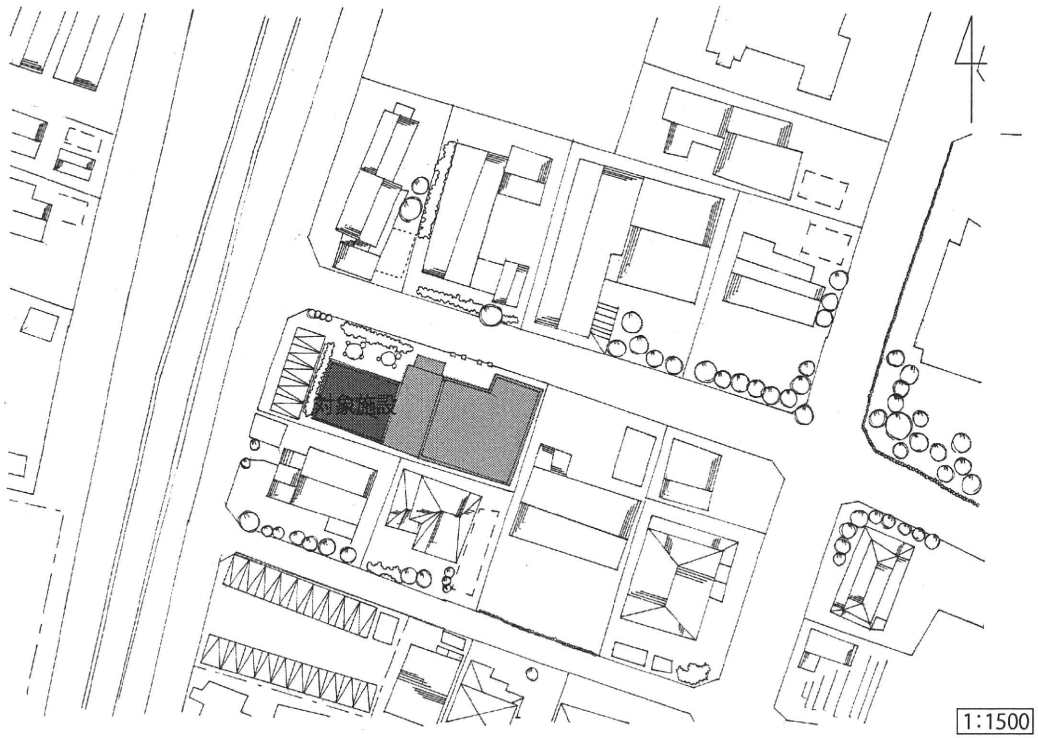
大牟田小校区

1 : 8000

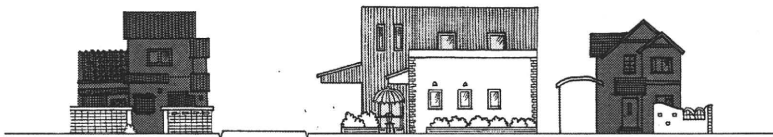
圏域内の施設の数	500m	800m
交流施設	2個	3個
コンビニ	1個	3個
神社・寺	2個	8個
障害者相談支援事業所・地域活動支援センター 障害者福祉施設・市民活動団体		
介護保険施設・地域密着型介護老人福祉施設		
スーパー		
公民館	1個	1個
小規模多機能型居宅介護	1個	1個
学校 (黒○は小学校)	2個	3個
認知症対応型共同生活介護		
病院 (診療所・医院は含まない)	1個	1個
幼稚園・保育園	2個	3個
特別養護老人ホーム		
市役所		1個
集会所		
地域包括支援センター		
子供関連施設		
▲介護予防相談センター		



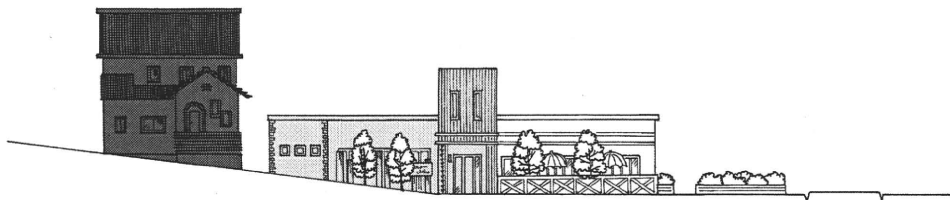
人口	6736人	老人クラブ加入率	5.39%
65歳以上の高齢者数	1688人	公民館加入率	49%
単身高齢者世帯数	580人	投票率	58.3%



リビングアエル 配置図

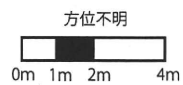
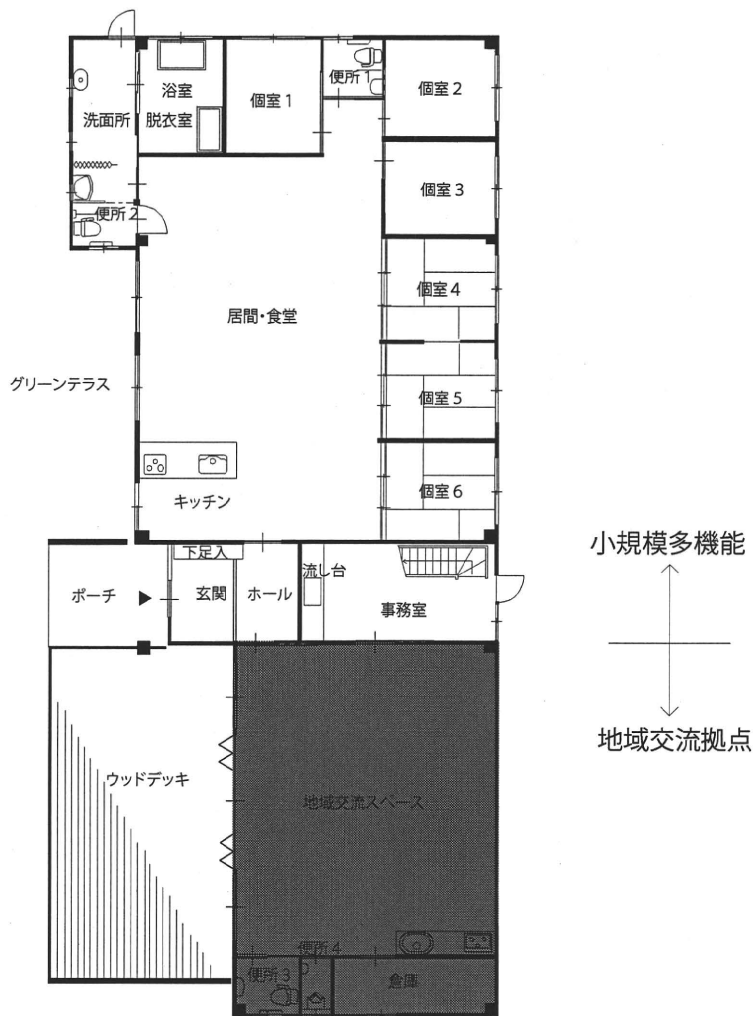


西側立面図



北側立面図

リビングアエル 立面図 1/400



地域交流スペース面積：71.28㎡

リビングアエル平面図 1/200



①交流拠点外観 手前：小規模多機能
裏：交流拠点



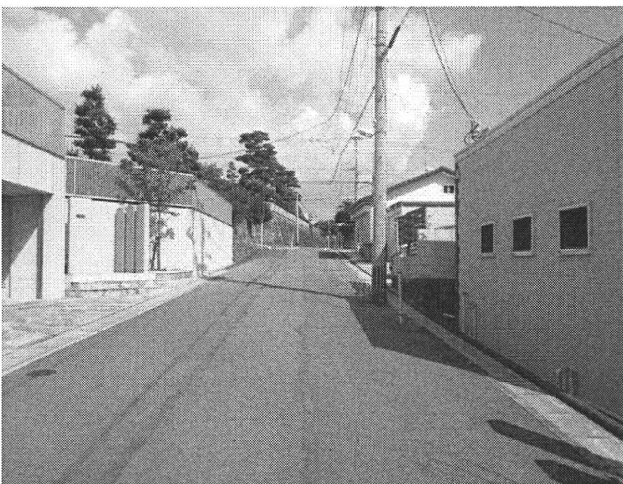
②交流拠点外観



③交流拠点入口（裏回り）



④交流拠点外観



⑤周辺写真



⑥周辺写真

校区	玉川校区	交流拠点名	地域交流ひろば かたらいの森 ひばりヶ丘
		法人名	(医)静光園(第二病院)

【施設概要】

1.	開設年月	平成20年8月開設		
	整備手法	新規建設		
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額:1732万円(うち補助金額750万円)		
2.	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	有		
	有の場合:交流拠点と同一敷地内にあるもの	小規模多機能、グループホーム		
	地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか	訪れやすいと思う		
	その理由:広大な住宅地域で進路も整備されている			
3.	運営に関わる主なスタッフ数	3名		
4.	主なスタッフの勤務状況	保有資格	兼務先	
	1人目	兼任	介護福祉士	グループホームとの兼務
	2人目	兼任	介護福祉士	グループホームとの兼務
	3人目	兼任	介護	小規模多機能との兼務
5.	平成21年度の運営費	収入:14.4万円	支出:12万円	
	交流拠点の家賃	家賃なし		

【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合
	28	317	3348	5:5:15:3
	事前登録の必要性(必要:不必要)	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合		参加者の流動性 固定, ほぼ固定, 流動
	21:7	8:1:19		7:15:6
	定期的な活動は、市からの委託事業によるよかばーい教室とはにかみ教室と地域主体の活動となる。地域住民主体の活動は、数多く行われており、太極拳、歌の会、習字、社交ダンスなどである。演劇な練習など地域とは無関係の団体の活動の場所としても利用されている。			
7.	開館方法	事業や活動がある時のみオープン。それ以外は施錠。必要に応じて開ける。		
	開館曜日	月～土 日・祝日・時間外の利用は相談に応じ開館	開館時間	10:00～17:00
	開館時の職員の常駐場所	併設施設		
8.	毎月の延利用者数	約430名	利用者数の増減	利用者数は増加傾向 メンバーは広がり、利用者数も増加している
	大牟田市委託事業(よかばーい体操、歯にかみ教室)の実施状況			実施している
	大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無			無
	名称)	独自の交流拠点事業		
	実施している			
	対象者)高齢者、子育て世代、多世代向け	参加形式)事前登録制		
	住民による校区活動やサークル活動時の利用形態			事前予約が必要・空いていれば利用可
	不定期の利用回数			1回/月
	常時運営している有料のレストランや食事処			無
	提供内容	利用者数		
お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄る場			無	
提供内容	利用者数			
ボランティアの参加の有無	有	延ボランティア数	約5名/月	
送迎の有無			無	
地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)			有	